学校経営計画
令和３年度　大田原市立大田原中学校

大田原市立小中学校教育方針

◆ **基本方針**

２１世紀社会の担い手として、豊かな心と創造力、そして、心身ともに健康で自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できるたくましい実践力を備え、郷土を愛し、国際的視野に立って判断できる児童生徒の育成をする。

そのために、創意と工夫に満ち、義務教育９年間を見通した開かれた特色ある学校経営のもと、教育基本法の理念を生かした教育を進め、個に応じたわかる授業を展開し、確かな学力を育成するとともに、様々な体験活動を通して豊かな心を育む教育を実践する。

◆ **目標**

1. 自他の生命の尊重及び健康・安全教育の徹底を図る
2. 確かな学力の定着を図り、個性を生かし主体的に学ぶ力を育成する
3. 心豊かで体力に満ちた児童生徒を育成する
4. 自己有用感を高める児童・生徒指導を充実させる
5. 国際社会に生きる日本人としての自覚を高め、その能力を育てる



１．教育目標

知性の涵養 自律学習	急激に変化する時代に夢と志をもちながら、現在及び将来について、自ら学び、考え、判断し、表現できる資質・能力を育成する。
体力の充実 体力増強	活動の源である気力と体力を充実させ、豊かな人生やよりよい社会の創り手となるための資質・能力を育成する。
品格の育成 礼儀の厳正	感性や自己有用感を大切にしながら、豊かな心や社会性を培い、品位を備え、礼儀正しく、他を思いやることのできる資質・能力を育成する。

２．学校経営の方針

本校生徒のもっているよさである（真剣な学習態度・活発な部活動・落ち着いた生活態度等）を継承しつつ、「社会に開かれた教育課程」と全ての生徒たちの夢と可能性を引き出すことができるより質の高い教育の実現を図り、保護者や地域に信頼され、生徒や教職員が誇れる「地域とともにある学校」の実現をめざす。**（※「文武両道」を実践し、人格を高める）**

◆ **確かな学力の育成に向けた学習指導の充実**

文

最重点
「文武両道」

武

◆ **部活動・生徒会活動での生徒の主体的活動の充実**
◆ **心の教育の充実**

３．めざす学校像

（１）生徒が自分のよさや可能性をメタ認知しながら学びを深め、自己実現を達成していくことのできる学校
（２）生徒が生涯にわたってたくましく生きるために、必要な健康を増進し、体力を高めていくことのできる学校
（３）生徒が自己肯定感・自己有用感を有しながら規範意識をもち、豊かな情操や道徳性を育成していくことのできる学校
（４）教職員が質の高い教育活動を推進していくために校長のリーダーシップの下、連携と分担によるカリキュラム・マネジメントができる学校
（５）新しい時代の教育や GIGA スクール構想に対応していくために、学び続けることができる教職員を育成していくことができる学校**（※今年度、新たに設定）**

４．本年度の基本方針及び努力点

（１）小中一貫教育の充実（※今年度、新たに設定）

西原小学校・紫塚小学校と協働で、確かな学力の育成を重点とした小中一貫教育を推進していく。

- ９年間の学びをつなぎ、系統的に学習に取り組むことができる環境や内容を構築していく。
- グローバル化する時代に国際人として活躍することができるよう英語教育の充実に努めていく。

（２）学年・学級経営の充実

生徒の自己実現に向け、先を見通した戦略的な学年経営の下、共同歩調での学級経営を推進する。

- 生徒の自己肯定感・自己有用感を高めるための場面の設定と支援の充実に努めていく。
- 教育相談を充実させ、生徒の心に寄り添う指導・支援を充実していく。

（３）学力の向上

新しい時代に必要とされる資質・能力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の実現や各種マネジメントの確立に努めていく。

- 生徒も教員もそれぞれの立場で、学びの PDCA サイクルを確立し、自己の学びや授業の質が深まるようマネジメントしていく。
- 教科書や良書の精読と多読及び問題演習などをとおして、文章読解力の向上をめざしていく。

（４）規範意識の高い生徒の育成

教育活動全体をとおして、生徒の自己肯定感・自己有用感を高めながら、道徳教育・人権教育・ESD（持続可能な開発のための教育）を充実させ、道徳心や規範意識の高い生徒の育成に努めていく。

- 「ならぬものはならぬ」という毅然たる温度差のない生徒指導を実施していく。その際、生徒自ら判断し、自己決定ができるよう支援していく。
- 持続可能な社会の担い手を育成するため、教科横断的な視点から各種体験活動を充実していく。

（５）生徒主体の活動の充実

今も今後も必要とされる「自ら学び、考え、判断し、表現できる力」をもった生徒の育成に努めていく。

- 生徒の自主性と主体性の育成をめざした各種学校行事・生徒会活動・部活動の実践に努めていく。
- 生涯にわたって健康で安全な生活を送るために必要な知識と体力を養えるようにしていく。

（６）地域とともにある学校づくり

家庭・地域との連携・協働を推進し、生徒が社会に参画する意識や地域への愛着や誇りをもち生活できるよう努めていく。

- 学校運営に地域の声を生かすために、コミュニティ・スクールを中核とした特色ある学校づくりを進めていく。
- 学校ホームページ・与一メール・保護者連絡メールなどを充実させ、保護者や地域に生きて働く情報を発信していく。